

SHOKEI

SHOKEI 2010 472

尚網学院におけるキリスト教教育



お花と笑顔を
施設に届けました!!

〈高等学校 花の施設訪問〉

尚網学院における キリスト教教育

第472号
2010年(平成22年)
7月10日発行

愛と奉仕の心を育むキリスト教教育。
園児・学生達は、“他者と共に生きる”ことを日々学んでいます。

子羊からの一通の手紙

中高教員/リチャード・ポール・メレス

教職員エッセイ
【梅の花】
○学生時代の思い出 ～一人旅のすすめ～/中高教員 小島和幸

卒業生コラム
はばたき
2001年 尚網学院高等学校卒業
株式会社 第一エージェンシー 「週刊オーレ」 営業担当/北田直子さん

●情報掲示板/学校行事報告 ●同窓会コーナー ●オープンキャンパス/オープンスクール案内

発行 尚網学院後援会 〒981-1295 宮城県名取市ゆりが丘4丁目10番1号 TEL:022-381-3342
印刷 田宮印刷株式会社 仙台支店
〒984-0051 仙台市青葉区新寺3-5-18 TEL:022-295-0281(4)
一冊送料¥2,000円

2010年度 大学オープンキャンパス



●7月31日(土)9:30~15:00
内容 体験学習、入試説明会、個別相談会、キャンパスツアー、生活圏ツアー、進路就職コーナー、保護者向けセミナー等
※地下鉄長町南駅より無料シャトルバスを運行します。(7:45~10:05の間、約10分間隔運行)

●7月10日(土)・9月25日(土)9:30~13:00
内容 体験学習、個別相談会、キャンパスツアー等
※いずれの参加者にもランチ(軽食)を用意しています。さらにオリジナルグッズをもれなく差し上げます。※上履きをご持参ください。

お申込み お問い合わせは
大学入試広報課
TEL 022-381-3311 (直通)
FAX 022-381-3325
●ホームページ(PC・携帯共通) <http://www.shokei.jp/>
●E-mail koho@shokei.ac.jp

申し込み方法
専用ハガキ、ホームページ、携帯サイトからお申し込みください

おくりやみ
謹んで哀悼の意を表します。
宇野 幸子様(86歳)
(本科 昭和17年卒・旧教職員)
5月12日逝去されました。

2010年度 中学校・高等学校オープンスクール

日時	中学校 小学生と保護者の方 対象	高校 中学生と保護者の方 対象
7月24日(土)	オープンスクール① 9:30~12:00	
8月21日(土)		オープンスクール (特進コース・総進コース) 9:30~15:30
8月28日(土)	尚網祭 入試相談会 10:00~14:00	
9月18日(土)	オープンスクール② 9:30~12:00	
11月6日(土)		入試説明会 10:00~14:00
11月13日(土)	入試説明会 9:30~12:00	
11月20日(土)		入試対策講座①(国・数・英) 個別相談会 9:00~12:00
11月27日(土)		入試対策講座②(理・社) 個別相談会 9:00~12:00
12月4日(土)	入試対策講座①(国・算) 個別相談会 13:30~15:30	個別相談会 9:00~12:00
12月11日(土)	入試対策講座②(理・社) 個別相談会 13:30~15:30	
2011年 1月22日(土)	入試対策講座③(国・算) 個別相談会 13:30~15:30	

お申込み お問い合わせは
中高入試広報室
TEL 022-264-5804 (直通)
FAX 022-264-5901
●ホームページ <http://sh.shokei.jp/>
●E-mail mail@shokei.ed.jp ※詳しくは、ホームページをご覧ください。

あなたもぜひ後援会員に!

尚網学院を応援していただける方ならどなたでも
ご加入いただけます。後援会にご入会
いただくと尚網誌が(年6冊)購読できます。

学校と保護者、母校と同窓生、生徒と保護者達、尚網を応援して下さる皆様と
もって「尚網」誌を通じてつながって欲しい。そんな気持ちで出来ました!

SHOKEI

5月 7月 9月 12月 2月
年6冊5回発送
※9月のみ通常・入募集特集号同時発行

後援会への入会に関しては、お気軽にお問い合わせください!

【年会費】 2,000円/年(複数年可) TEL.022-381-3342 電話受付時間 木曜日を除く
平日9:00~15:30
FAX.022-381-3467
【口座No】 02230-3-2116 HP <http://ap.shokei.jp/dk/>
E-mail: koenkai@shokei.ac.jp
尚網学院後援会事務局
〒981-1295 宮城県名取市ゆりが丘4-10-1

郵便局からの振込は
※尚網誌購読中の方で、氏名・住所等変更された場合は電話・FAX・Eメール等で後援会事務局までご連絡ください。

ご協力、どうぞよろしくお願い致します。

編集委員 徒然日記

先日、古川にある吉野作造記念館に行く機会に恵まれました。
「民本主義」を主張し、大正デモクラシーの中心人物だった彼の功績をご存じの方はたくさんいらっしゃると思いますが、旧制第二高等学校在学中、尚網女学院校長ブゼル先生の聖書研究会に参加しブゼル先生から大きな影響を受け、翌年に受洗したことをご存じの方は少ないのではないのでしょうか? 開館にある貴重な展示物やビデオを見て、尚網の生徒や学生、教職員の皆さんにも見ていただきたいと思うと共にブゼル先生の偉大さを再認識した1日でした。
(T・S)

募集中! 記事を読んでの感想、思い出のお写真、情報お待ちしております! お手紙 おハガキ FAX E-mail にお送りください。



愛と奉仕の心を育むキリスト教教育。
園児・学生達は、他者と共に生きることを日々学んでいます。

尚綱学院とキリスト教教育

尚綱学院のキリスト教教育の土台にある精神は、突き詰めればキリストが示された「愛」ということになるでしょう。自己中心的な考え方や生き方が溢れかえっている社会の中で、他者への思いやりや共生を大切にすることを尚綱学院の教育的使命です。

尚綱学院では、学院長を中心に法人、大学、中高、幼稚園の委員が学院全体のキリスト教教育のあり方や課題について話し合い、また各部署のキリスト教教育について情報交換を密に行い、共通理解に努めています。さらに2007年度から「建学の精神研修会」を年1回開催し、

尚綱の教育の土台にある精神を、教職員が確認し合う作業を精力的に行っています。

キリスト教教育に関連する取組み

今年進んでいるキリスト教教育に関連する大きな取組みは二つあります。一つはエラ・オー・パトリックホームの復元です。今年の創立記念日に竣工式を行う予定です。尚綱に与えられた最初の本格的校舎エラ・オー・パトリックホーム（西洋館と日本式木造館）は、海外伝道への篤い思いを抱きながら若くして亡くなったエラ・オー・パトリックのご遺族や、米国のクリスチャンたちからの尊い献金によって建てられました。エラ・オー・パトリックホーム（西洋館

のみこの復元を通して、長い歴史を通して尚綱に寄せられている多くの祈りをしっかりと心に刻みたいと考えています。もう一つは名取キャンパスに待望の礼拝堂を建設するための準備です。創立120年を迎える2012年完成を目標にしています。具体的な準備は、昨年度発足した名取キャンパス礼拝堂建設委員会が現在精力的に進めています。礼拝堂建設への篤い祈りを、主がお聞き届けくださるうとして、心から感謝しています。



各部のキリスト教教育の紹介

幼稚園

毎日、教職員は祈りと賛美をもって一日の歩みを開始します。そのような幼稚園スタッフによって保育される子ども達は、日々の楽しい園生活を通して、全身で「キリストの香り」を感じ取っていることでしょう。



イースター礼拝

花の日、収穫感謝、クリスマス、イースターなどを、園児たちは季節の折々に体験します。これらの礼拝の中で学院長はじめ教会の牧師、大学や中高の先生方など、たくさんの方と子ども達も一緒に参加します。年長組では実際にキリスト教会を訪問し、会堂で聖書のお話を聞き、祈り、賛美する特別なプログラムももっています。

保護者の皆さんもPTA行事の開会に当たっては礼拝を行い、尚綱の精神をしっかりと受け止めてくださっています。



教会礼拝

中高

中高における毎日の学校生活は、朝の礼拝に始まり終礼で終わります。礼拝することを主軸にしながら、聖書の授業やキリスト教行事によって、豊かなキリスト教教育が行われています。



高等学校 花の日礼拝

5月の前期キリスト教教育週間では、早天祈禱会、花の日礼拝、病院施設訪問、キリスト教講演、キリスト教会の礼拝への出席奨励日など、たくさんの方のプログラムがあり、7月には「平和七タ」運動に参加しながら平和祈願礼拝を行います。後期もキリスト教教育週間に様々な取組みを予定していますが、何といてもハイライトは12月のクリスマス礼拝です。総力を挙げて準備に当たる中で、生徒たちは中高の教育の土台にある大切な精神を学び取っていくのです。



中学校 平和学習



クリスマス礼拝

大学

大学宗教部では今年度から前期を「キリスト教集中セミナー」と位置づけました。特に1年生に対しては、しっかりとキリスト教を体験することができるよう、月曜2限目の礼拝に毎週出席することを奨励しています。また、1年生の必修科目「聖書学入門」が、今年度からは全学科とも前期に開講されるようになりました。学生たちは礼拝と授業を通し新鮮な感覚でキリスト教を学んでいます。

3年目を迎えるカンボジア・プロジェクトも少しずつ軌道に乗り始めました。講演会、スタディツアーへの参加、報告会、大学祭への参加、募金、クリスマス献金など一連のプログラムを通して、特に性的搾取を受けている女性や子どもの自立支援に具体的にに関わり、共に生きることの大切さを学んでいます。



大学祭での報告



クリスマス礼拝

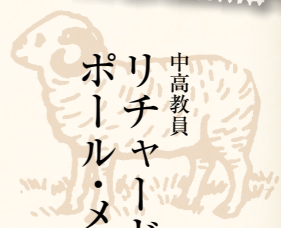
カンボジア・プロジェクト

校名の出典 [衣錦尚綱]

中国の古典の『中庸』の中にある言葉で「錦(ニシキ)を衣(キ)て、綱(ケイ)を尚(クワ)う」と読む。中に錦すなわち金・銀糸やあざやかな色糸で織られた美しい着物を着ていても、それを見せびらかすのではなく、その上に麻の打ち掛けをかけて錦のきらびやかさをつつましく被う、という意味で、謙虚・謙遜な人柄、生き方を教える言葉。

これからも、「衣錦尚綱」と、聖書の言葉に示された人間のあり方を学んでいきます

子羊からの
一通の手紙 012



中高教員
リチャード・
ポール・メレス



「ファリサイ派の人々が「神の国はいつ来るのか」とたずねたので、イエスは答えて言われた。「神の国は見える形では来ない。「ここに」「あそこにある」と言えるものでもない。実際に、神の国はあなたがたの間にあるのだ。」

(ルカによる福音書17章20～21節)

これはファリサイ派の人たちがイエスを試そうとして「神の国」について尋ねたことに対して、イエス様が答えたことです。きっと予想外の答えだったにちがいありません。「神の国はどこか遠い場所にあるのではなく私たちの間にある。」とイエス様は言っています。「間」は「関わり」と考えることも出来ると思います。

現代は大量の情報が溢れてインターネットや携帯電話などのコミュニケーションツールで大変便利になりました。しかしそれらは本当に人間同士の豊かな関わりを生み出していいのでしょうか。世界が抱えるさまざまな対立と憎しみ、無関心を考えたとき、神の御国の実現はそう簡単ではないことを覚えます。

さて私たちは家族や友人、他者と愛ある関わりをもって生きていくのでしょうか。「互いに愛のある関わりをするとき、その関わりの中に神様はおられる。」というこのメッセージは、私たちへのチャレンジでもあります。神の国は与えられるものではなく、自分のあり方次第で実現可能なものだからです。

梅の花

教職員エッセイ

中高教員 小島和幸
「学生時代の思い出
〜一人旅のすずめ〜」

vol.12

旅に出て、見聞が広がり自由に
なれる感覚を味わってほしい



学生時代、沢木耕太郎の『深夜特急』の世界に憧れて一人旅をした。『深夜特急』の世界には到底及ばないが、東南アジアの国に何度か訪れ3週間滞在した。東南アジアは学生のバックパッカーも沢山いるのでビギナーには適している。それにしても「地球の歩き方」は本当によくできている。一人旅の強い味方だ。

国内も青春18きっぷがまわった。東京から四国、九州を巡り、各駅電車で帰ってくるのはなかなかの試験である。度々野宿もした。私の経験則では夏の野宿は駅や公園のベンチより海辺が最適だ。波の音や風が爽やかで星空も綺麗な上、海はあたたかく包み込んでくれるようだった。ユースホステルも一人旅の強い味方だ。ドミトリーは多くの出会いがあり情報交換も可能である。しなみみ海道のサイクリング、桂浜、門司港、沖

縄など印象に残っている場所は数えきれないが、屋久島での出港時のフェリーの汽笛は今でも忘れられない。

学生時代は比較的自由な時間があるから是非、旅に出てほしい。特に男子学生には一人旅がおすすだ。見聞が広がる上、自由になれる感覚を是非味わってほしい。

最近、旅行会社に勤めている友人から、旅行の予定が少しでも崩れると直ぐにクレームが入るとい話を聞いた。旅とは本来どのようなものだったのだろうか？予定通りに行かず、苦勞し、辛いことがあることこそ本来の旅だったのでないだろうか。学生時代に読んだ『深夜特急』をもう一度本棚から探し出して、再び旅への思いを巡らせたいと思う。

卒業生コラム

はばたき

第12回

2001年 尚絅学院高等学校卒業

北田直子さん

株式会社第一エージェンシー
「週刊オーレ」営業担当



2001年 尚絅学院高等学校卒業
2005年 県内大学学芸学部
国際文化学科卒業
同年、株式会社
第一エージェンシー入社
「週刊オーレ」の営業担当

社会にでるといろんなことがありますが、
高校で学んだ日々が土台となっていていきます。

この仕事を選んだ
きっかけは？

企画をし、何かを作って形にすることが好きでした。それを生かせる仕事は何だろうと思つたときに、広告会社の採用募集を発見。説明会に行ったときの「自分で広告を作り、それが目に見える、たくさんの方が見てくれる、そんな仕事です。」という言葉に感銘を受け、この会社で働きたいと思いました。

仕事上の印象的な
エピソード

私の仕事は、宮城県紙の河北新報の朝刊に毎週金曜日発行している「週刊オーレ」という情報紙の営業ですが、一番印象に残っているのは、初めて自分で作った原稿が宮城県全域に47万部発行され、たくさんの方に読まれたことです。

尚絅時代の思い出

高校3年間で、一番楽しかったです。生徒会に入っていたので、毎日が充実していました。

一番の思い出は、3年生の時の文化祭…。化粧問題で文化祭を中止と言われ、必死でみんなを説得して回ったのを覚えてます。3年生みんな仲間意識の強い学年だったので、みんなすぐに受け入れてくれ化粧を落とすしてくれました。今思うと、眉毛はかわいそうだった…。

Time Schedule

ある日の北田直子さんを追う！

- 8:00 起床 身支度・お化粧
(社会人女性営業は必須です…)
- 9:00 出社 営業準備
- 10:00 営業活動&原稿打合せ
&原稿制作
- 18:00 社内ミーティング
数字管理・一日のまとめ
- 20:00 帰宅 自炊 お風呂 就寝

夢を追う尚絅生に
アドバイス

尚絅という場所は、自分磨きにとってもプラスになる学校だと思います。授業はもちろんですが、部活や校外学習、キリスト教の「他者と共に生きる」ということが、何よりもこれからの人生で大切なことを教えてくれます。実際、社会にでるといろんなことがありますが、高校で学んだ日々が土台となっていきます。すると、未来で1歩前に行ける人になれると思います。頑張れ尚絅生！

本格的な夏の訪れを感じられる今日この頃
校内は、たくさんイベントで賑わいを見せています。
新しい生活にも徐々に慣れてきた頃の
明るく元気な笑顔をお届けいたします。

法人事務局

皆様の多大な支援に感謝

エラ・オー・パトリック ホーム起工式

エラ・オー・パトリックホーム復
元工事起工式が5月14日(金)名取
キャンパス建設予定地(学生駐車場
北側)で行われました。

加藤理事長より「いつの時代も尚
綱の顔であり建学の精神を表す建
物。創設者や建学の精神に思いを馳
せる場所になりたい。」と式辞の後、関
係者による献入れが行われました。
広瀬校地で2008年に解体され
たエラオは、多くの方々に協力頂
き無事起工式を迎え、これより名取
校地で2010年11月24日(水)の創
立記念日までに竣工を目指します。

皆様のこれまでに
の多大な支援に
改めて感謝致し
ますと共にご報
告申し上げます。
(企画調整課
阿部 祐子)



幼稚園

初めて礼拝に触れた子も

花の日礼拝

6月9日(水)



幼稚園では、子
ども達が各家庭
から持ち寄った
沢山の花に囲ま
れて花の日礼拝
が行われました。
赤や黄色、水
色などの様々な
色や形の草花を見て「きれいだね」
「可愛いね」と、とても嬉しそう
な子ども達と保護者の方々。小林先生
からは、「神様は、この花達のように
にみんなの事を見守り、育てて下
さっているのです。」というお話を
聞き、真剣な表情で聞き入る子ど
も達。幼稚園に入園して初めて、
「礼拝」というものに触れる子ども
もいましたが、それぞれの子ども達
にとっても良い時間を過ごす
事が出来ました。

幼稚園教員 黒川 紗綾)

春の遠足

楽しい思い出ができました

【年少組】

年少組(16
名)は、5月
17日(月)に

『名取市消防
署高館出張
所』、『名取
スポーツ



パーク』に遠
足に行きました。消防士(つっこを
して楽しんでいました)3歳児は、本物
の車両を目の前にし、初めは緊張
さみの表情でした。しかし、消防
車の運転席に乗せてもらったり、
「救急車」のベッドに座らせても
らったりしているうちに、表情が
変わり、自分たちから消防士さん
たちに質問をしていた子どもたち
でした。楽しい体験のひと時とな
り、今から非難訓練の日を楽しみ
にしています。

(幼稚園教員 坂本 由佳里)



【年中組】



五月晴れにも恵まれ、まさに遠
足日和だった5月18日(火)年中組
は、第一臨空公園に遠足に行つて
きました。公園に到着すると
「あつ！飛行機の遊具見つけた！」
と大興奮。飛行機の遊具は大人気
で、ローラー滑り台には長い列がで
きました。ターザンロープでは園長
先生と共に楽しみ、網のロープでは
スパイダーマンのようにてっぺん
まで登り、誇
らし気な表
情を見せて
くれました。
飛行機の離
発着も間近
で見ることが
でき、子ど
もたちも大
満足した一
日となりました。

(幼稚園教員
川田 裕子)



【一年長組】

一年長組は5月19日(水)に岩沼海浜
緑地公園に遠足に行ってきました。
当日とても楽しみにしていた
子どもたち、バスに乗って出発で
す。高速道路での移動中は先生た
ちや実習生の紹介がありました。
公園に到着すると早速楽しみにし
ていた、大型アスレチック遊具で
体をいっぱい動かして遊んだり、
ながいローラー滑り台を滑った
り、カニを見に行ったり、虫取りを
したりと一人ひとりが楽しみにし
ていたことに取り組んでいました。
普段幼稚園ではできない経験を
いっぱいしてきました。またもう
一つの楽しみだったおうちの方が
作ってくれたお弁当はとってもお
いしかったです！
あつという間に帰る時間にな
ってしまい「もつとあそびた
い」「またみん
なで来たい
ね」という声
がありました。



(幼稚園教員
清野 正恵)

サイエンスキャンプ

少し違う自分へと成長できました



5月6日(木)から8日(土)ま
で、栃木県のツインリンクもてぎで
サイエンスキャンプが行われまし
た。私は今まで自己中心的なところ
があり、他人の意見を聞くこと
があまり出来ない人間でした。でも
一日目チームの反省をしたとき、
お互いの意見を尊重できていない
ことに気がきました。その後、チ
ームで「はじめ「意見を尊重」など
いうきまりをつくり、そのきまりを
守ることについて話し合いができる
ようになりました。そしてキャンプ
が終わってからもそのきまりを守
ろうと心がけるようになって、前と
は少し違う自分になったと感じて
います。今回のサイエンスキャンプ
のテーマは「しあわせ」でしたが、今
後は学校の先生や地域の方々にな
りについて聞いてみたいと思ってい
ます。

(1年A組 山内 優果)

陸上記録会

記録が沢山更新されました

6月7日(月)に中学校陸上記録会
が尚綱のグラウンドで行われまし
た。陸上記録会の種目は、100m、
800m、走り高跳び、走り幅跳び、
クラス対抗リレーです。高跳びと
幅跳びは各クラスから選ばれた女
子は数名と男子は全員、100m、
800mは全員参加で、リレーはク
ラスで選ばれた10名が走りました。
(2、3年生は2チーム)

今年の記録会では、大会記録を
更新した人が多く、各クラスの応
援ですごく盛り上がりました。2年
生は全員で「ボンボン」を作り応援
しました。特に盛り上がったのが走
り高跳びとリレーで、高跳びは2年
生男子が1m39cmの大会新記録で
した。リレーは3年生が優勝で、総
合でも3年連続総合優勝という成
績を収めることが出来ました。最
後の記録会も優勝出来て良かった
です。

(3年A組 木村 麻衣)



高等学校

特進・学習合宿

4月26日(月)～4月30日(金)

バスを降りてその建物を見た瞬間、一年前のことが思い出され、勉強の孤独感という暗雲が私の心を覆った。「また孤独な戦いが始まる。」と私はそう思っていた。だが今年は何かが違った。クラスが一丸となって勉強に向き合っているという実感があつたのだ。丑三つ時まで粘りに粘って数学の難問をクラスでただ一人打ち破った者、手強い国語教師との一対一の授業で己を磨いた者、持ち前の明るさでクラスの笑顔を守り続けた者、各々の姿勢は違うが、その一つ一つがクラスのやる気に直結し、一丸となって勉強に立ち向かうという意志に絶えず火を灯し続けていたのだ。再びバスに乗り込む頃には、私の心の暗雲はかき消され、達成感という青空が広がっていた。

(3年7組 田中 颯)



中学校

協力していい行事になりました

春の遠足

4月28日(水)は中学校の遠足で
した。今年はイチゴ狩りと炊飯と
交流ゲームの企画でした。新入生
歓迎の意味を込めて生徒会執行部
で考えた目標は「㊀㊁㊂㊃㊄㊅㊆
㊇㊈㊉㊊㊋㊌㊍㊎㊏㊐㊑㊒㊓㊔㊕
㊖㊗㊘㊙㊚㊛㊜㊝㊞㊟㊠㊡」で
した。縦割りの班で炊飯と交流
ゲームを準備していましたが、あ
いにくの雨でとても残念でし
た。それでもスクールバスで巨理
に向かい大粒のいちごをたくさん
食べる事ができました。班対抗
の交流ゲームは体育館に変更し、
炊飯は試食室と小ホールで、美術
室でホットプレートを使って楽し
みました。班長中心に前日の買い
出しから当日の調理、後片付けま
で、みんなで協力してすこしい
行事になったと思います。

(生徒会長 坪井 理生)



6月25日(金)大学で梅の実とり



6月11日(金)避難訓練



5月28日(金)田植え

その他の行事報告
(幼稚園で行われたその他の行事です)

春の遠足 4月28日(水)

【1年】

私たち一学年の初めての行事だった遠足は、地引き綱を予定していましたが、残念なことにも雨天のため、急遽松島水族館へ行くことになりました。尚綱の体育館で行ったレクリエーションでは、どのクラスもすごい団結力を見せ、楽しむことができました。



移動の最中は、大きな声で歌ったり、遠足委員の企画したゲームをしたり、お菓子を食ったりとバスの中でも楽しい時間を過ごしました。水族館へ着くと、初めてのクラス写真を撮り、そこから自由館内を見ることができました。この行事から得た思い出やクラス、学年の仲間との絆を大切にしたい、これからの高校生活をより有意義にしたいと思います。

(遠足委員 プシユパラル喜紗子)



【2年】



4月28日(水)は遠足。高(総合進学)コースは石巻・涌谷コース(1組)、松島コース(2・4・5・6組)栗原・大崎コース(3組)に分かれて出かけました。雨が降ったりしてあまり天候は良くありませんでしたが、それぞれのクラスが遠足の目標にあつた『歴史を学ぶ事』が出来たと思います。行く前は「なんで歴史学ぶの。」とかいろいろな意見がありました。実際行ってみると、沢山の発見があつて、来てよかったと言ってくれる人が多く嬉しかったです。楽しかった事、また来たいなと思つた事など沢山ありました。また、もうひとつの目標である『クラス作り』もできたと思います。新しいクラスになつて、緊張していた人も沢山いましたが、今回の遠足でクラスの絆も深まり、今後の活動に生かせるようにしてほしいです。

(遠足委員長 石川望美)

副委員長 松谷安里香

【3年】



「春の遠足」：快晴！と言いたい所ですが、天気に恵まれることなく雨模様の日となつてしまいました。しかし、尚綱生の心は晴れ模様！色の楽しい遠足となりました。強いです尚綱生!! 全学年のクラスがそれぞれテーマを決め、行程を作り上げたこの遠足は充実したものでなつたことでしょう。そして、それぞれが楽しみや学びを得られたと思います。因みに私が属している3年4組では、コカ・コーラ工場を見学しました。製造から販売、そしてリサイクルまでの過程を見学して、普段何気なく飲んでいるコーラがこのように出来ていることを学びました。今回、遠足を行う事が出来たのは、周りの支えのおかげです。この感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思えます。



(3年4組 熊田曜)

普段考えないことを考えた

花の日施設訪問 5月18日(火)「洛風苑」



私と一緒に歌を歌ってくださつたよしこさん、「みんな可愛いねえ。私達の時は戦争でおしゃれなんかできなかつたから。」と話してくださいました。

今の私達の生活は、必ずしもできると約束された生活というわけではないはずです。何でもできるよになつて当たり前と考えるようになればなるほど、戦争は昔のことになり、苦しみも忘れられていくような気がします。

老人ホームへの訪問は、普段考えない事を考えさせられ覚えることができる、とてもいい奉仕活動でした。

(3年 熊野妙美)



希望を持ち続けよう

前期キリスト教講演



中高キリスト教教育の改訂ガイドラインを初めて運用する今年、主題を「主にある平和」と位置づけ、5月20日(木)午前高校、午後には中学校で、日本基督教団三一教会牧師の平良愛香先生の講演を聞きました。NPT再検討会議の話題に始まり、沖縄出身の先生が沖縄戦と基地の歴史から旧約聖書の哀歌にちなんで愛香と名付けられたこと、沖縄の反基地運動には戦争への加担を拒否する思いが込められていることなど、ピアノ・三線・ハーブの弾き語りや交え、「平和をつくりだすために希望を持ち続けよう」とのメッセージを熱く語られました。

(宗教部主任 佐々木達也)



大学・短期大学

2009年度大学・女子短期大学部進路状況

2009年度の卒業生の進路は、下記の表に示されているとおりです。

昨年度の卒業生は、人間心理、健康栄養の各学科、保育専攻科および大学院を合計すると384名であり、そのうち就職希望者は307名、就職内定率は91.5%でした。これは2007年度(93.3%)、2008年度(95.6%)に比べても劣ることのない数値といえます。また進学率は、大学院(8名)、4年制大学編入(13名)、専門学校(7名)は昨年に近い数値が得られました。

一昨年来の景気の底にあつて、昨年からの東京で行われる企業説明会への参加、また基礎学力向上のための試験の実施と補習講座の開催、公務員と企業の採用試験対策講座の開催など、全学の協力を得て低学年からの段階的かつ継続的な就職支援体制を築くことができました。ご父母の皆様にはこの取

組にご理解をいただきとともに、就職指導へのご協力も併せてお願いいたします。

(進路就職部長 杉座秀親)

大学院進学

大学名	人数
東北大学大学院	2
白梅学園大学大学院	1
尚綱学院大学大学院	5

4年生大学 編入学

大学名	人数
東京福祉大学	1
東北福祉大学	1
尚綱学院大学	11

尚綱学院大学、女子短期大学部

2010年5月1日現在

産業	就職内定者数					合計
	心理	健康	保育	専攻科(保育)	大学院(心理)	
製造業	6	6	1			13
情報通信業	1					1
電気・ガス・水道業	1					1
卸売業・小売業	13	9	6		1	29
金融業・保険業	2	2	2			6
不動産業・物品賃貸業	2					2
宿泊業・飲食業	2	35				37
生活関連サービス事業	2	2				4
教育・学習支援業	3	3	51	3		60
医療・福祉など	4	14	62	5	2	87
複合サービス事業	3	1				4
サービス業	16	7	1			24
公務・その他	3	4	6			13
合計	58	83	129	8	1	281

お詫び

471号の2010年中学・高等学校入学試験状況の表は、特進から総進へのスライド合格者を含むもので、表記が足りず「迷惑おかけいたしました」ことをお詫び申し上げます。

2010年 尚綱祭

8月28日(土) 一般公開

高校

テーマ「KENZO」サブテーマ「尚綱革命」

Keep...伝統を守り、Enjoy...楽しみ、Native...地域を大切に、Zeal...情熱を注ぐ尚綱祭にし、Oasis...皆さんの癒しの場となりますようにという願いが込められています。

中学

- ①部活発表(室内楽部・情報発信部・シオンの会・茶道部・合唱部・ダンス部他)
- ②学習企画
 - 1年:サイエンスキャンプの発表
 - 2年:~世界の中の日本~イングリッシュキャンプの発表
 - 3年:国際理解や各授業の発表
- ③クラス企画



5月28日(金)高総体社行式



5月28日(金)生徒総会



5月4日(火)演劇部単独公演

その他の行事報告

(高校で行われたその他の行事です)

合格おめでとうございます
管理栄養士国家試験
合格状況について

3月21日(日)実施の第24回管理栄養士国家試験の合格発表が5月7日(金)にありました。本学では、

健康栄養学科4期生89名の受験者中60名が合格し、合格率は67.4%でした。残念ながら昨年の合格者数64名、合格率72.7%をやや下回る成績でした。

管理栄養士養成課程(新卒)の平均合格率はこの数年低下傾向にあったものの、今回は全国平均が

78.7%とやや持ち直しました。このような状況の中、尚綱学院大学健康栄養学科としては、これまで以上に国家試験に合格できる実力を持った学生を育てるべく努力する覚悟です。

(健康栄養学科 布木和夫)

他学科の記念苗木とともに
桜の苗木100本植樹



2010年4月15日(木)授業の一環として、1〜4年生180名と教員が集まり、ゆりが丘キャンパス北東面の高台400mの区間に桜の苗木100本を植樹しました。「園芸学」担当の大川巨先生より事前講義を受け、学年を超え協力して実習しました。ゆりが丘のゴロ石が多い地面の穴掘は手強く、斜面をよじ登りながらの水運びも想像以上に大変でした。悪戦苦闘しながら植え、最後に皆の名札を下げました。他学科の記念苗木も植えました。4年生の苗木は、卒業後もずっと、花が咲くまでの世話が後輩達に託されます。(生活環境学科教員 玉田真紀)

大変意義のある会となりました
学生会総会報告

4月23日(金)、2010年度学生会総会が体育館にて行われました。総会議事は「2010年度学生会常任委員会会長承認」「2010年度学生会常任委員会役員及び会計監査委員承認」「2009年度学生会収支決算報告及び会計監査報告」「2010年度学生会予算案承認」「学生会規約の改正」「学生会常任委員会承認」の6つで、これらの議事は当日、委任状を含め出席した1419名の学生からの承認を得ることができ、2010年度学生会総会は大変意義のあるものとなりました。総会の承認を受け学生会は、学生生活のための今後の活動に大いに活かしていきたいと思っています。(学生会会長 人間心理学科3年 今野祐太)



4回目の開催となりました
シネマパラダイス

表現文化学科では、新入生歓迎上映会、「尚綱シネマパラダイス」を、4月26日(月)に学生会館多目的ホールで開催しました。この上映会は、2年生が、プロの方々にご指導いただきながらイベント運営力を習得するための実践として毎年行っているものです。第4回目となる今年は、「映像に描かれる実際の場所」をテーマに、「アルペール・ラムリス監督の『赤い風船』をフィルムで鑑賞し、映画の舞台となったパリのメニルモンタン地区について、菊池哲彦先生に解説していただきました。古いフィルムの映像に触れる貴重な機会となりました。(表現文化学科 広瀬愛)



2009(平成21)年度 尚綱学院後援会収入支出決算書

繰越金内訳		
現金		27,354
銀行預金		1,093,386
振替貯金		114,840
合計		1,235,580

収入総額	支出総額	差引次年度へ繰越
57,271,523	56,035,943	1,235,580

収入の部	科目	予算額	決算額	差異	摘要
会費	55,793,000	56,073,900	△ 280,900	月額1,700円、教職員月額500円	
基礎会員会費	53,293,000	53,818,900	△ 525,900	卒業生会員、同窓生、旧教職員	
賛助会員会費	2,500,000	2,255,000	245,000	1件	
寄付金	0	50,000	△ 50,000	預金利息他	
雑収入	0	72,777	△ 72,777	2008年度より	
繰越金	1,074,846	1,074,846	0		
合計	56,867,846	57,271,523	△ 403,677		

支出の部	科目	予算額	決算額	差異	摘要
援助金	30,000,000	30,000,000	0	学院へ援助	
施設援助金	30,000,000	30,000,000	0		
基本金繰入額	17,000,000	17,000,000	0		
機関誌発行費	3,850,000	3,432,575	417,425	尚綱誌年6回印刷費	
印刷費	2,100,000	1,871,982	228,018	尚綱誌年6回印刷費	
発送費	1,750,000	1,560,593	189,407	尚綱誌年6回印刷費	
事務費	5,740,000	5,603,368	136,632	職員2名	
人件費	4,000,000	3,999,457	543	役員会交通費	
旅費交通費	70,000	56,380	13,620	編集委員会会議費等	
会議費	30,000	17,780	12,220	事務用品	
消耗品費	120,000	111,420	8,580	電話料、各種発送物郵便料金	
通信費	70,000	33,937	36,063	エアコン新設工事、空調機電源工事	
什器備品費	300,000	331,540	△ 31,540	プロバイダー料金、ホームページ加工費	
パソコン関連費	200,000	140,690	59,310	同窓会名簿作成人件費負担金、振込手数料等	
雑費	950,000	912,164	37,836		
予備費	277,846	0	277,846		
合計	56,867,846	56,035,943	831,903	次年度へ繰越	

基本金会計	項目	収入	支出
2008年度より繰越	42,381,198	0	
2009年度利息収入	238,634	0	
2009年度繰入	17,000,000	0	
2009年度取崩	0	0	
合計	59,619,832	0	

2010(平成22)年度 尚綱学院後援会収入支出予算書

予算額	前年度予算額	差異
56,973,580	56,867,846	105,734

収入の部	科目	予算額	前年度予算額	差異	摘要
会費	55,738,000	55,793,000	△ 55,000	保護者会員月額1,700円、教職員月額500円	
基礎会員会費	53,538,000	53,293,000	245,000	卒業生会員、旧職員	
賛助会員会費	2,200,000	2,500,000	△ 300,000	2009年度より	
繰越金	1,235,580	1,074,846	160,734		
合計	56,973,580	56,867,846	105,734		

支出の部	科目	予算額	前年度予算額	差異	摘要
援助金	30,000,000	30,000,000	0	学院へ	
施設援助金	30,000,000	30,000,000	0		
基本金繰入額	17,500,000	17,000,000	500,000		
機関誌発行費	3,850,000	3,850,000	0		
印刷費	2,100,000	2,100,000	0	尚綱誌年6回印刷費	
発送費	1,750,000	1,750,000	0	尚綱誌年6回印刷費	
事務費	5,090,000	5,740,000	△ 650,000	職員2名	
人件費	4,100,000	4,000,000	100,000	役員会交通費、その他	
旅費交通費	100,000	70,000	30,000	役員会・編集委員会・その他	
会議費	30,000	30,000	0	事務用品	
消耗品費	120,000	120,000	0	各種発送物郵便料金・切手代・電話代	
通信費	70,000	70,000	0	プロバイダー料金	
什器備品費	200,000	300,000	△ 100,000	名簿システム作成作業負担分(14万)・後援会室アンペア工事・ほか	
パソコン関連費	100,000	200,000	△ 100,000	学院へ	
雑費	350,000	950,000	△ 600,000		
水道・光熱費	20,000	0	20,000		
予備費	533,580	277,846	255,734		
合計	56,973,580	56,867,846	105,734		

※△は減額(前年比)

後援会

第1回後援会
代議員総会

5月29日(土)今年度代議員制になり初めての総会が、24名の参加のもと名取キャンパスの大会議室で行われました。開会礼拝・高橋会長の挨拶で始まり、加藤学院長より施設援助金の御礼と昨年末まで行われた募金に関する報告、また理事会で礼拝堂の建設が正式に決定したことが報告されました。佐々木学長からは、

図書館と実習棟が完成したことや増田の生涯学習センターでは、のべ1万人の市民の皆様にご利用いただいているとの報告がありました。今年度より就任された庄司校長からは、今年3月の卒業生は、国公立合格者が10名に増加し、4年生大学への進学者が70%以上に増加したこと、また今年の新入学生は減少したが、優秀な生徒が入ってきたこと、今後学校のブランド力を高めていく努力をしていきたい旨のお話をいただき、議事に入りました。代議員制になり、役員・代議員の各立場からの活発な意見交換がされ、活性化された総会となりました。



議事

- 09年度活動報告
 - 09年度後援会収支決算報告
 - 10年度活動計画案
 - 10年度後援会収支予算案
 - 10年度後援会役員改選と代議員選出
- 以上の内容が承認されました。

2010年度
後援会役員・代議員

- 会長 高橋 脩
副会長 太田 喜郎 木村 相衣子
顧問 加藤 正名 佐々木 公明
庄司 賢三 菊池 雅人

- 会計顧問 佐々木 寿徳
監事 丹野 英機
佐久間 新一
坂口 正二
石田 一彦 小島 典子
伊藤 直子 山本 盡子
菊池 哲彦 松岡 節子
佐藤 智子 戸嶋 慎
小島 広二 後藤 勉
鶴間 順子 福士 淑恵
木村 相衣子 三浦 祐治
松尾 重信 落合 玲子
穴戸 朗大 後藤 美代子
小泉 ひとみ 鈴木 祐子
齋田 尚子
- 事務部長 齋田 尚子
事務員 穴戸 素子

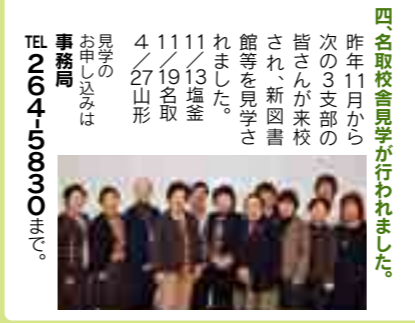
同窓会
コーナー
同窓会総会のご報告



5月15日(土)、2010年度同窓会総会を江陽グランドホテルにおいてご来賓の方々そして、懐かしい先生方をお迎えし総勢147名の参加で盛大に開催致しました。第1部総会から始まり、第2部では、ぶどうの会の讃美歌に続き、松田牧人牧師より「神の芸術作品」という題で、わたしたちは神に造られたものであり、しかも神が前もって準備してくださっているとの説教をいただき、心に響く内容に感激いたしました。第3部は、高橋みどりさんによる楽しいマジックに続き、丹治嘉典子さんによる「人生は片道切符、楽しいことが多い方が良く」との題で講演を頂きました。普通に過ごせることに感謝すること、寝る前に良かった事を書いて1日を反省するという生活のありようなどの話に、会場は笑い、納得のうなずきで楽しい雰囲気の中で講演会でした。盛りだくさんのプログラムでしたが、最後に、ぶどうの会のリードで新尚綱学院歌を全員で歌い、母校という絆に連なる葡萄のようになり、豊かに実るの意味を感じる事が出来ました。同窓会は、新年度を歩みだしていきます。これからも皆様のご協力を願います。つづ報告いたします。(総会実行委員長 安住 夏子)

インフォメーション

「6月3日(火)10時半より」八三会を北山霊園にて行います。講話は和泉敬子先生です。
二、同窓会費の名称が変わります。2010年度より同窓会会費は、「活動協力費」と名称変更させていただきます。
三、住所・新姓・死亡通知などの変更手続きが尚綱学院同窓会HP「各種変更手続き」で出来るようになりました。
四名取校舎見学が行われました。昨年11月から次の3支部の皆様が来校され、新図書館等を見学されました。



TEL 26458300まで。